

外部評価意見への対応方針

番号	外部評価意見	対応方針	分類
区政有識者会議			
1	子育てスタート応援事業について、将来的には3歳や4歳まで使える券の発行は検討されないのか。	・乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供することにより、子どもの将来のための重点投資を促進するために実施する事業ですが、区の予算も限られているため0歳から2歳までとなっています。 ・今後、事業効果の検証を経たうえで、サービス内容の向上も検討が必要と考えています。	③
2	子育て博覧会事業について、事業の意義がよくわからない。打ち上げ花火的に終わってしまう感じがする。	・文字情報だけではわかりにくい部分があるので、子育て支援機関と親子の方が対面する機会が必要と考えています。 ・打ち上げ花火的にならないよう、企画運営をしてみたいです。	①
3	英語による即興型ディベートスクール事業について、将来的に学んだ中学生が留学できるような道筋を立ててほしい。	ディベートスクールで学んだ人が将来さらに海外に出て学ぶなど、中長期で人を育てる視点を持つことが必要と考えています。	⑤
4	天王寺区への外国人の来訪者も多くなってきたことから、天王寺区のお店はどこでも少しの英語はできるよう、小売店向けの英語教室も検討してほしい。	大人の方を対象とした英語学習の機会提供は、検討したいと考えています。	③
5	区全体の活動をしている団体への支援があればありがたい。今後の課題として認識してほしい。 地域活動協議会への補助金を、これ以上減らすことのないようにしてほしい。地域がますます活性化するようにお願いしたい。	・地域活動協議会は、地域課題を共有しながら活動できる概ね小学校区等の地域を単位に、各種地域団体や企業、NPO、これまで地域活動への関わりが薄かった人たちなど多様な各主体がその特性を発揮し、さまざまな地域課題に取り組む自律的な地域運営をめざす仕組みです。 ・区では地域実情に応じて地域活動協議会の運営を支援しており、財政的支援については、現在のところ、区予算の範囲内ではありますが、各地域活動協議会に対してということになります。	⑤
6	高齢者がどこへ行ったかということを感じ取るような、ハード面のサポートも必要と考える。	・ハード面の整備として、大阪市では、高齢者等のお宅に、急病などの緊急時に通報装置やペンダントを押すだけで、関係機関につながるシステムがあります。 ソフト面では、ガスや水道などの事業者と協定を結んで異変を察知した場合に区役所等に連絡してもらうようになっています。 ・そのような他の制度も組み合わせ、また民生委員や地域の見守りとも連携して、高齢者の見守りのネットワークを作っていきたいと考えています。	⑤
7	高齢者がだまされやすい状況であるので、そこにも力を入れてほしい。	区では、地域の食事サービスなどに職員がお伺いした際、直接高齢者の方に防犯(振り込め詐欺など)の啓発を呼びかけています。また、区広報紙での啓発も行っています。引き続き取組を進めてまいります。	①
8	市の保健・医療・福祉ネットワーク推進員※制度がなくなったが、地域で負担して活動いただいている。地域の活性化には必要なので、経費について少しでも地域へ支援してほしい。 ※保健・医療・福祉ネットワーク推進員…概ね小学校区を単位として設置されている「地域ネットワーク委員会」の事務局機能及び地域の保健・医療・福祉に関する地域の相談窓口としての機能を担うために地域に1名ずつ配置。平成24年度末をもって制度廃止。	・保健・医療・福祉ネットワーク推進員(以下「推進員」という。)の方への経費支援は困難ですが、地域活動協議会の運営委員会等、会議開催にかかる案内状送付などの庶務事務や会計事務等、地域活動協議会の運営に関する業務に携わっていただく方への報酬は、補助金額の範囲内で支出が可能です。 ・地域福祉を支える体制として、推進員お一人に対応いただくのがよいのか、なるべく多くの方で数多い頻度で見守りができる体制をつくっていくのがよいのか、常に本当にこれが地域福祉になっているかどうかを検証しながら、より理想的な形になれるように進めたいと考えています。	④
9	家具転倒防止器具取付事業について、この事業を知らない人が多い。	広報紙などでの周知とあわせ、今後とも「あなたの声をつなげ隊」の活動時や、地域の食事サービスなどに職員がお伺いした際にも周知をはかってまいります。	①
10	商店街で設置した防犯カメラのメンテナンスへの助成をしていたけるとありがたい。	・防犯カメラの大阪市での設置補助は平成19年度で終了しており、現在は国の補助のみで、また、大阪市・国のいずれも、メンテナンスの助成は実施していないと聞いております。 ・引き続き、商店街での防犯カメラの助成について、情報把握に努めてまいります。	④

※分類

- ①当年度において対応 ②来年度運営方針に反映または来年度に対応予定
 ③来年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他

外部評価意見への対応方針

番号	外部評価意見	対応方針	分類
区政戦略会議			
1	地域活動協議会の事務手続が煩雑である。事務の簡素化はできないか	・地域活動協議会を運営していただく中で、適正な事務処理のもと、会計の透明性を確保することは、必要だと考えています。 ・区役所では、中間支援組織と連携し、補助金に関する会計説明会の開催などを通じて、地域活動協議会における適正な事務処理を支援してまいりました。 ・事務の簡素化については、適正な会計処理とのバランスを考慮する必要があるため、皆さんからのご意見をふまえつつ、検討してまいります。	③
2	マンション等集合住宅への災害用物資の配備について、選定基準※が厳しいと思う。基準の緩和が必要と思う。 ※一番近い収容避難所(学校など)から半径200メートルを超える距離に建つマンション等集合住宅。	・本事業は、大規模災害時に共助による初期初動の迅速化を図るため、救助資器材を配備している避難所等が、徒歩で概ね往復5分程度の距離にない地域に立地するマンション等に協力をいただき、救助資器材を置かせていただくというものです。 ・未だ、区内には上記のような地域が存在するため、当面はこのような地域の解消に主眼を置き、取組を進めてまいります。	⑤
3	中高生向けインターンシップについて、7月からスタートとのことだが、募集を早く始めて※、周知期間を長く取るべきではないか。 ※参考：平成25年度の募集期間 7/1～12	昨年度の反省に立ち、今年度は応募期間を長くとり1カ月確保できるよう改善しました。 (募集期間：6/20～7/21)	①
4	中高生向けインターンシップについて、昨年度はものづくり系の業種への参加が少なかったため、検討が必要では。 ※参考：平成25年度の参加内訳 ヤフー株式会社大阪支社 2名(高校生1名、中学生1名) 株式会社ミキハウス 2名(中学生2名) 特定非営利活動法人地域基盤技術継承プラザ 1名(中学生1名) 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 6名(高校生2名、中学生4名)	・中学校などで行っている職場体験学習との差異を明確にするという観点からも、本事業では子どもたち自身が将来のキャリアとして興味を持っていることを優先し、なるべく意に合った受入先を充てたいと考えています。 ・一方で、子どもたちに対して、今の興味とは違う他の仕事も世の中にはあると、視点を広げて考える機会を設けることも大切だと考えており、創業者から起業について学べる機会や、様々な業種、形態の受入先をご用意して、参加を呼びかけてまいります。	①

※分類

- ①当年度において対応 ②来年度運営方針に反映または来年度に対応予定
③来年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
⑤その他

外部評価意見への対応方針

番号	外部評価意見	対応方針	分類
区政会議（合同会議）			
1	・子育て関係の行事に母と子だけではなく父親の参加もみられるようになってきた。 ・子育て支援サークルは、本当に困っている方に居場所を提供する機能を有し、存在意義はある。今後活性化も必要である。	・「子育て愛あいフェスティバル」などの行事に父親の参加も見られるようになったことは、地域の民生委員、主任児童委員の皆さんのご尽力の賜物と考えております。 ・平成26年5月号からリニューアルした区広報紙においては子育て情報の充実を図っており、子育て支援サークルなどの情報を掲載しております。 ・また、スマートフォンを使った新たな子育て情報提供事業も平成27年2月に運用開始予定です。	①
2	「天王寺区ジュニアクラブ」について、部員への参加の意思の確認を定期的に行い、活動を継続する意思があるかどうか確認を毎年確実にし、効率的な運営を行うべき。	登録者に対する活動継続意思の有無については、年度末に定期的な確認を行っています。	①
3	母子のひとり親家庭に比べて父子のひとり親家庭への支援が不十分ではないか。	・母子のひとり親家庭のみが対象だった児童扶養手当について、平成22年8月から父子のひとり親家庭が対象に含まれるようになりました。 ・また、これまで父子のひとり親家庭については対象外だった福祉資金貸付について、平成26年10月から対象に含まれるようになりました。	⑤
4	平成27年度から学校選択制が導入され、地域外の子どもが入学することとなった際に、見守り活動をうまくできないのではないかと懸念がある。	・学校選択制の導入にあたり、校区外から通学する児童の通学時の安全確保は保護者の責任となっており、保護者向けの「学校案内」でもお知らせしています。 ・地域外から通われるお子さんについても、地域のお子さんと同じように声かけ、見守りくださいますよう、お願いします。	⑤
5	・小学校へのクーラー設置を進め、よりよい環境づくりを進めてほしい。 ・家庭のトイレがほとんど洋式であり、和式トイレを使うことができない子どもが増えている一方、小学校のトイレには未だに和式が多いので、洋式に改築すべき。	・小学校教室へのクーラーについては平成26年度以降3期に分けて設置予定です。 ・トイレの改築についても今後計画的に実施する予定と聞いています。	⑤
6	地域活性化のために若者や家族への投資をすべき。	・天王寺区では子どもや子育て世代が多い状況にあることから、未来を担う人材の育成に取り組んでいます。 ・平成26年度より、乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会等を提供するサービスなどに利用できる「子育て応援券」の交付や、中学生を対象にディベート（討論）等を通じて英語によるコミュニケーション能力を強化する「英語による即興型ディベートスクール事業」などを新たに進めています。	①
7	・「独居高齢者等見守りサポーター事業」について、見守り活動を担うボランティアが減っているが、増やすための取組はどうなっているのか。 ・高齢者見守りについては、地域実情に応じてそれぞれの地域ごとで取組の進め方が異なっていることから、スタートから1年を経過したことをふまえて、地域ごとの状況を学びあうための報告会を開催してはどうか。 ・町会と区役所の取組（独居高齢者等見守りサポーター事業など）の連携が必要。	・見守り希望者に対し、月に1回もしくは2～3か月に1回程度の訪問を行っております。 ・地域によって見守り活動を担っていただけの方の数が異なり、訪問回数に差がありますが、地域とも情報を共有し、連携を図りながら、今後とも充実に向け取組を進めていきます。	③
8	東京オリンピック開催が決まったので、スポーツ事業の推進を検討してはどうか。	・区では子どもから高齢者まで誰もが気軽に楽しめ、交流を深めることができるよう、毎年秋に「スポーツフェスタ」を開催しています。 ・さらに、子どもがスポーツを通して夢に挑戦する意欲やチャレンジ精神を培うことができるような新たな取組を検討します。	②
9	高齢になればなるほど外へ出ていく機会、社会参加が必要。	・高齢者の交流の場を提供するために、各地域では定期的にふれあい型食事サービス、ふれあい喫茶を開催しており、区広報紙でも毎月場所・時間をご案内しています。 ・また、福祉の情報の発信や、高齢者や障がいのある方への理解と新たな気づきの促し、多世代交流を図ることをめざして「天王寺愛あいふれあいまつり」を開催しています。	①
10	放置自転車について「マイコミおおさか」に投稿しようとしたが手間がかかった。 ごみなどを含めて、もっと簡単に連絡できる窓口はできないか。	・「マイコミおおさか」は、民間の画像投稿サイトのアプリケーションをスマートフォンにダウンロードし、地図情報上に地域課題やその解決に向けた取組状況等を投稿する取組（実証実験）で、平成26年4月14日から7月31日まで、天王寺区も参加して市内8区で行いました。 ・区では、投稿に対して、関係先と連絡・調整のうえ対応にあたってきました。 ・「マイコミおおさか」の取組は一旦終了しましたが、区民の皆さんからのご意見、ご要望などについては、これまでどおり電話やメールなどさまざまな媒体でお受けし、関係先にお伝えします。	⑤

11	・小学生向けの自転車講習会の取組は有意義であり今後力を入れるべき。 ・自転車マナー啓発を充実してほしい。	・小学生向けの自転車講習会については、警察署が中心となって引き続き実施します。 ・自転車マナーについては、地域・企業・学校・行政が協働で放置自転車対策に取り組む「ゆめまちロードOSAKA」等キャンペーンの実施に加え、広報紙での自転車ルールの紹介、学校等を通じた啓発を行うなど、啓発の強化に取り組みます。	①
12	撤去された自転車を引き取りに行きたいが、行きにくい場所にあるので容易に引き取れず、事実上放棄せざるを得ない。もっと近い場所に引き取り場所を設けてほしい。	・撤去された自転車については所定の場所に一定期間保管されることとなります。 ・区としては、自転車は放置せずに駐輪場に駐めていただくよう、啓発に努めていきます。	④
13	落書き対策をしてほしい。	現在、公共施設への落書きについて実態調査を行っています。調査後は、建物所有者に対し消去依頼を行います。	⑤
14	避難所開設訓練を実施していない学校でも実施してほしい。	避難所開設・運営訓練につきましては、これまで地域や関係先の協力を得て、主に小学校を会場に区内9地域で実施してきました。今後、地域や関係先と調整し、同訓練を実施していない学校等において訓練を実施していきます。	②
15	町会単位で防災訓練を大人同士で行っているが、子どもと一緒に訓練できる場があればよい。	子どもも平常時に防災について学び、災害時には自分の身を守る、みんなで力を合わせるなどの行動がとれるようになることは非常に重要であることから、子どもから大人まで多世代が楽しみながら体験できる趣向を凝らした防災訓練「あそぼうさいin四天王寺」を平成27年3月15日に開催します。	①
16	災害用マンホールトイレについて、数が少ない。各小学校に2つずつ配置して普段から設置訓練をしていくべき。	災害用マンホールトイレにつきましては、災害時避難所周辺を基本に設置を進め、区内60カ所に設置しました。マンホールトイレの取扱は、専用の資機材を有する建設局または専門事業者が行うこととなっております。	⑤
17	防災訓練について、天王寺区以外の地域から避難してきた人への対応はどうなるのか。	大規模災害により発生する区外からの避難者の受け入れについては全市的な検討が進められています。	⑤
18	府立高校にも災害用物資の備蓄を進めてほしい。	災害時避難所に指定している区内の府立高校3校(高津、清水谷、夕陽丘)につきましては、校内に備蓄物資を置くことが困難であることから、区内に拠点箇所を設け、他の災害時避難所と同様の物資を備蓄し、災害時にはトラック協会に協力をいただき順次搬送することとしています。	⑤
19	・「天王寺真田幸村博」について、地域の理解を深めるために、地域の方にもっと手伝ってもらってはどうか。 その際は、具体的に何を手伝ったらいいのか示してほしい。 ・もっと積極的に取り組んでほしい。	・平成26年5月開催の「真田幸村博」イベントは、地域の皆さんの多大なご協力のもと、約2万5千人の方にお越しいただきました。 ・平成27年10～11月予定のファイナルイベントまでさまざまな取組が続きますが、引き続き地域とも連携を図りながら取組を進めていきたいと考えています。 ・区としては、「幸村博」を契機に歴史的・文化的資産が集積している天王寺区の魅力を区の内外に発信していきます。 ・訪れた方が、気軽に歴史にふれることができるよう、真田幸村ゆかりの地をわかりやすく巡るための観光案内板の整備等を検討します。	②
20	「お寺のまちdeキャンドルナイト」について、今後も積極的に取り組んではどうか。	区ではすべての事業について効果検証を行っており、キャンドルナイトについても検証を行ったうえで取組を進めます。	③
21	・町会に加入していない方が増えている。そのような方が地域との関係が希薄化している。 ・地域活動協議会とはどのような団体なのか知られていない。地域活動について、もっとポスターなど使って積極的な広報をすべき。	若い住民やマンション住民など、地域との関係が薄いと思われる方々の参加促進に向け「天王寺区まちづくりセンター支部」と連携して、区広報紙などで地域活動の紹介を行うほか、各地域活動協議会によるホームページ開設を支援するなど、情報発信力の向上に取り組めます。	①
22	・地域活動協議会の会計について、単年度ごとに事業を完結しなければならないので、複数年で考えることができない。 ・区からの補助金は今後減っていくのではないかと。自立を考えないといけない。	・地域活動協議会への補助金については、市の規定により単年度ごとの支出となっております。 ・地域活動協議会が自立した運営が行えるよう、区としても中間支援組織と連携し、具体的事例を地域へ提案するなど、コミュニティビジネス化・ソーシャルビジネス化に向けた取組を支援していきたいと考えています。	①
23	地域活動協議会は地域ごとなので、参加できない団体もある。区全体の「区活動協議会」のような団体を作り、予算の少ない活動に区から予算を補助するような仕組みづくりはできないか。	・地域活動協議会は、地域課題を共有しながら活動できる概ね小学校区等の地域を単位に、各種地域団体や企業、NPO、これまで地域活動への関わりが薄かった人々など多様な各主体がその特性を発揮し、さまざまな地域課題に取り組む自律的な地域運営をめざす仕組みです。 ・区では地域実情に応じて地域活動協議会の運営を支援しており、財政的支援については、現在のところ、区予算の範囲内ではありますが、各地域活動協議会に対してということになります。	⑤
24	区役所の地域担当者の顔が見えない。	・各地域ごとに、地域課題を共有し、協働して課題解消に向けて取り組む「地域担当職員」や、区政に関する情報をお知らせし、要望・意見の聴き取りを行う「まちかどパートナー」を配置しています。 ・今後とも地域の行事に積極的に参加していきます。	①

※分類

- ①当年度において対応 ②来年度運営方針に反映または来年度に対応予定
③来年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
⑤その他